

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.04.17 - 2010.04.23

2010年4月20日付け「大楚ネット」

28.8 キロ！国内最長の LRT(ライトレールトランジット)が武漢で開通

武漢市 LRT1 号線第二期工事の建設が最終段階に入り、残り一本の高架橋の構築が開始される。長さ 28.8 キロのライトレールの高架橋が今朝から全線開通した。交通専門家の胡潤洲氏によると、これは現在まで国内で運営している線路の中で最も長いということだ。

LRT1 号線は東から西まで漢口を通過し、呉家山から解放大道に沿って宗関まで延びて、また京漢大道へ曲がって、黄浦路を経由して解放大道に戻って、終点である堤角に到着する。

硃口建築材料センター、武漢広州ビジネスゾーン及び古田、百歩亭などの住宅密集地を通過しており、全長は 28.8 キロである。

そのうち、ライトレール第一期工事区域の宗関 黄浦路間は既に 2004 年に開通し、第二期工事部分はその両端から延びている。

中国管理科学院武漢分院の都市交通研究所所長を務める胡潤洲氏によると、現在、国内ライトレール線路の本数はそれほど多くなく、そのうち重慶及び東北地域のライトレール線路は長くなく、北京のライトレールは都市中心部から郊外までとなっている。上海のライトレールは地下鉄とつながっており、長さは 20 キロ以下である。

武漢のライトレール 1 号線は開通後、国内で運営している線路の中で、最も長いライトレールとなった。



2010年4月23日付け「長江ネット」より

中部地域美食博覧会開幕「芸術食卓」は武漢市民にとって身近に……

昨日、2010年中国中部地域美食博覧会ならびに荊楚美食祭が開幕し、会場である武漢国際コンベンションセンターに約1万人の市民が殺到した。料理の味と見た目の美しさの両方を楽しめる催し物である。

中国飯店協会、湖北省商務庁、武漢市商務局の共催により、博覧会は3日間行われる。「現代風の飲食を発展させ、中部地域の食の都を作ろう」をテーマとし、中華名物の展示、有名な点心の認定、職業の技能コンテスト、飲食企業家の会合などのイベントが行われた。また、60品の「2010年度中部地域の人気料理」が発表された。

ホールでは、美しい結婚式の宴会用、ビジネス宴会用の料理が展示され、まるで芸術品のような見た目だった。多くの市民はカメラを持って写真を撮り、家庭で参考にするのではないかと思われた。これらの宴席の価格は888元から6,688元までと幅広く、その盛り付け、姿造りは独創的な工夫が凝らされていた。例えば、カボチャを龍と鳳凰の形に彫ったり、プチトマトとブルーベリーなどの中華風と洋風の融合もあった。